

食道扁平上皮癌の診断・治療のため当院に入院・通院されていた 患者さんの診療情報および腫瘍組織を用いた臨床研究に対する ご協力のお願い

研究責任者

病理学教室 岡田保典

実施責任者

病理学教室 尾原健太郎

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、実施責任者・尾原健太郎までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

1995年1月1日より現在までの間に、当院にて食道扁平上皮癌の診断・治療のため入院あるいは通院し、生検・手術などを受けた方。

2 研究課題名

研究課題名：食道扁平上皮癌の進行および治療抵抗性にかかわる分子機構

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部病理学教室

4 本研究の意義、目的、方法

よりよい食道がん治療を確立するため、食道がん細胞がどのようにして増殖・浸潤・転移するかという問題に関する研究が重要です。医学が発達した現在でもその詳細は明らかになっておらず、分子レベルでのがん細胞の振る舞いを研究することが医学の発展に不可欠です。

種々のがんにおいて、タンパク質分解酵素であるマトリックスメタロプロテアーゼ [MMP] やその近縁分子である ADAM をはじめとした、様々な分子ががんの進行に関与しています。この研究は、食道がんが進行したり、化学療法が効きにくくなったりする際に、これらの分子がどの程度産生されるかを調べることを目的としています。

5 協力をお願いする内容

この研究では、病理診断目的で作製された病理検体(食道検体のホルマリン固定後包埋ブロック)の一部を使用させていただきます。また、食道がんに関する患者さんの診療情報(治療内容や治療の効き具合、病理診断結果、年齢、病変部位など)を参照させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2012年12月21日～ 2015年3月31日(予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報(氏名と患者番号のみ)です。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究機関名：慶應義塾大学医学部病理学教室

住 所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

電 話：03-5363-3764(直通)

担当者氏名：尾原 健太郎(おはら けんたろう)

以上